



Агора アゴラ



1993年1月 第54号

鶴見大学図書館報

読 書 ？ ？

短期大学部教授 海 野 阿 育

世間の履歴書には趣味の欄がある。そして趣味の欄に読書と書く。世間では読書が趣味一般である。さてお前は如何にと問われれば、本は読むが読書はめったにできないと白状せざるを得ない。読書を楽しめる人がとても羨ましい。

いつのころからか本に対しては、本は読むものという強迫観念めいた付き合い方をするようになった。恐らく毎夜、母親が子どもたちの枕元で児童文学の名作を読んでくれた小学生のこ

ろから自覚したのだろう。正直、心象的な作り話は退屈だった。姉と弟は楽しかったようだ。私は早々と根を上げて脱落した。すぐ眠ってしまう私に母は諦めざるを得なかった。だから小学生のころは『トム・ソーヤの冒険』・『ハックルベリー・フィンの冒険』・『海底二万マイル』？とかの他に、一連のルパンものから子ども向けの講談本に始まって大人の講談本を読み耽っていた記憶だけが強い。内容は全く忘れてしまっている。

中学生のころは何故か漱石・鷗外・龍之介・藤村・花袋・直哉・荷風・潤一郎・康成などの作品を義務的に読んでどんどん諦めていった。結局、一連のシャーロックホームズものやルパンものの他にむしろ西鶴の方が面白かった。そう言えば八犬伝や膝栗毛も面白がって読んだし、『水滸伝』・『三国志演義』そして『源平盛衰記』などを興奮して読んだ記憶が残る。ただ読

目 次

読書？？……………海野阿育	1
英米文学関係を中心とした	
文献の探しかた……………	4
文学部創設30周年記念展を開催して…	9
新刊あらかると……………	10
図書館だより……………	12

んだという記憶だけで今は内容を何も思いださないのは、そのとき読んで読みっぱなしにしか出来ない、どこかに作り話は作り話だという甚だ不遜な思いがあったからだろう。

反面、人生の真実を学ぶためには自分で考えなければならないということもいつか不遜に思い定めるようになったから、そのために本は読まなければならないという強迫観念と共に新なる不遜を身につけていった。

高校生のころには実際、作品世界にのめり込んだ本読みも幾つかはあったが、決まって読んだ後の奇妙な虚脱感がいやだった。だからか、頭で本に挑戦することの方を良しとしたから結局、ニーチェやキルケゴールは未だに読めていない。読んだのはゲーテの『詩と真実』、ウェルテルは定かでない。テクジュベリの『人間の土地』・『夜間飛行』・『城砦』、『星の王子様』は後で読んだと言われるほど解釈は出来なかった。リルケの『マルテの手記』・『若き詩人への手紙』・『ロダン』、詩は読まなかった。ツルゲーネフの『獵人日記』。ドストエフスキーやトルストイは面倒臭くなって途中で止めた。その他、小林秀雄の『ゴッホの手紙』、バルナールの『ゴッホの手紙』、ロランの『ミケランジェロの生涯』、高村光太郎の『ロダンの言葉』、光太郎の詩は読まなかった。『平家物語』は一気に読んだが『源氏物語』は時間がかかった。『古事記』・『日本書紀』は読まずに未だに書棚の一番上に収まっている。いつか読もう。

こうして作品を作品として読めない欠陥は、M・ポンティの現象学や和辻の原始仏教にしがみついて、フッサールやハイデッガー、デカルトを覗いただけでカント、ヘーゲル、マルクス、ベルグソンは前を通り過ぎた。とどのつまりこの言語作品に対する欠陥は、英語と数学が全くだめという現実を映して絵を描くことに向けられて運良く美術学校へ行けて、生き延びた。

だからか、絵の勉強を始めると今度は「見れ

ば解る」という強迫観念に取り付かれて目の玉を引っ提げて見て歩いた。展覧会、映画、古美術、寺社仏閣、職人の仕事、子どもの仕事、風景等手当たり次第だった。芝居と踊りと花や鳥や虫は見なかった。そしてついに人に聞かずにこの目で見ることに本で調べれることで学習の全てを賄う悪い癖を身につけてしまった。

子どもの仕事を見ている内に、自分の仕事と重ねて、絵は「かく」ものだと思い始めた。そこでいわゆる流行の身体性の思想を追いかけたがとんと埒が明かない。結局、自前で考えなければならない事を思い知る。そんな中で読んだ最近のものに、例えば、土方巽の『病める舞姫』・『美貌の青空』がある。土方の暗黒舞踏の実際は見えていない。文章は妙に視覚的だ。西脇順三郎の画について一文があった。西脇が詩人であり絵も描くことはどこかで読んだことがある。改めて西脇を調べる。詩はとても視覚的だ。

西脇は唯一、朔太郎から詩を学んだと言う。高校の時の親友が朔太郎の詩を絶賛していたから少しは読んだことがあるが、今もって傾倒の域にはいかない。朔太郎の西脇評は芳しくない。

朔太郎の詩評を追って行くと突然、蕪村が飛び出して来る。俳句は嫌いだが蕪村だけは別格だそうだ（『郷愁の詩人と謝蕪村』）。

君あしたに去りぬ夕べの心千々に

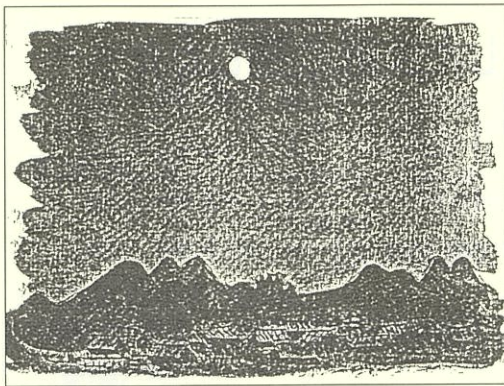
何ぞはるかなる

君を思ふて岡の辺に行つ遊ぶ

岡の辺なんぞかく悲しき

（北寿老仙をいたむ）

この詩の作者の名をかくして、明治年代の若い新体詩人の作だと言っても、人は決して怪しまないだろう。しかもこれが百数十年も昔、江戸時代の俳人と謝蕪村によって試作された新詩体の一節であることは、今日僕らにとって異常な興味を感じさせる。



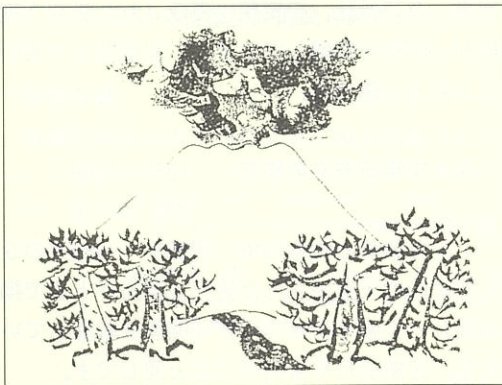
月天心貧しき町を通りけり

これが唯一知っていた蕪村の句だ。凍てついた
明るい月の空を見上げると口をついて出る。

ところでこの今の今まで蕪村は俳人、歌詠み、
詩人だとばかり思っていた。そして与謝蕪村は
画人、絵かきだと思っていた。彼は詩人で画人
の文人で一人だということに気がついてびっく
りしている。呆れた音痴だ。画はとても好きだ。

詩と画を捉えてみたいと考えていると『蕪村
全集』が出ることになった。編集委員に本学文
学部の山下一海先生が当たっておられる。お顔
も存じ上げぬままにただありがたい。

詩と視覚を考えると蕪村は芭蕉を師として、
芭蕉は西行を師としてつながって行くと考えて
しまう。『芸術新潮』に連載されていた白洲正
子の西行が気になっていたが、毎月読むのが面
倒なので単行本になったところで買って読んだ。



たまさか富士の麓に住み着いたので

風になびく富士の煙りの空に消えて
ゆくへも知らぬわが思ひかな

この明澄でなだらかな調べこそ、西行が一生
をかけて到達せんとした境地であり、ここに
おいて自然と人生は完全な調和を形づくる。

と絶賛するこの歌がたまらなく富士を見せてく
れる。しかしその前ページに、東海道を西から
静岡に入ってくると小夜の中山の難所があり、

年たけて又越ゆべしと思ひきや
命なりけりさやの中山

この時西行は六十九歳で、四十年以上前に、
はじめて小夜の中山を越えた日のことを憶い
出して、はげしく胸にせまるものがあつたに
違いない。

とある。この二つの歌とも『山家集』にはなく
「たぶん伊勢で山家集を編纂した後の作で、二
度目に奥州へ旅をした時の歌であることは間違
いない。」となれば、小夜の中山の難所を再び
越えて富士を見た一繋がり之歌である。いい日
を選んで小夜の中山を越えて富士を見に行かな
ければならない。

本は読むしかないものだと思いつつ人の後
について遅々と読んでいるこのごろである。

英米文学関係を中心とした文献の探しかた

閲覧係

当図書館では、英文学と米文学の図書は区別して置かれています。例えば、英文学史は930.2、米文学史はA930.2としています。従来米文学はAをつけずに赤のアンダーラインで区別していたため、カード目録と図書の背のラベルには、全てアンダーラインが引かれていましたが、端末機表示と同様に図書のラベルも変更することになりました。

また、英米の作家は、それぞれ固有番号が与えられ、その作家の全集、選集、個々の著作、伝記、研究書、索引、書誌等がその番号の下に集中して置かれています。また、既成の分類表にない新しい作家を収録するために、その他 (other writers) として、英文学では939.0、米文学ではA934.0の下をアルファベット順に並べ、その頭字の下に序数をつけて、例えば Agatha Christie (939.0 C-8) Ellery Queen (A934.0 Q-1) のように個別化しています。

作家の個別番号の詳細は、各端末機の脇に置かれている「英米文学分類表」に記載されています。巻末の相関索引を見て下さい。これで、英米文学に関する一般の単行書が、どのように分類され、配架されているか理解できたと思います。

では次に、よりよい文献を手に入れるにはどんな参考資料を使えばよいのか、その代表的な参考図書、及び二次資料（文献目録）を紹介します。ただし具体的な検索の方法は、「研究文献の探し方」として既に英米文学科4年生を対象として作成済みですので、ここでは各分野に分けてそれぞれの資料の紹介と、検索方法を簡単に説明することにします。

《英米共通》

「外国文学研究文献要覧Ⅰ」＜英米文学編＞

1965—1974

930.131-G

1965～1974年の10年間に国内で発表された図書及び雑誌、紀要類に掲載された研究文献が収録されています。記載項目は図書……著・編者名／書名／訳者名／出版者・出版年／頁等
雑誌……著・編者名／論題：収載雑誌名／巻号／発行年月／頁等です。文献目録は、英米文学一般（項目別）、作家・作品論（作家名のABC順）に大別され、各項目・作家の中は図書、雑誌、書誌の順に著者名の50音順に配列されています。巻頭に内容目次（項目、作家・作品名）巻末に事項索引（50音順）・作家名索引（50音順）・作品名・書名索引（邦題名と原題名……ABC順）・著者名索引（50音順）があります。

「英米文学研究文献要覧」 1975—1984

930.131-G

1975年～1984年の10年間に国内で発表された図書、及び雑誌、紀要類に掲載された研究文献約24,000件を収録しています。記載項目や索引は上記と一緒です。

「英米文学研究文献要覧」 1985—1989

930.131-G

上記を継承したもので、1985年～1989年の5年間に国内で発表された研究文献及び上記に掲載漏れの文献合わせて約17,000件を収録しています。記載項目や索引は上記と同じです。

Brontë, Emily Jane (1818—1848) <英>		
〔雑 誌〕		
3799	秋保 慎一	ある二重唱——E. ブロンテとV. ウルフ: Biblia(山形Bibliaの会) 9 ['87.7] p37~45
3800	阿部 美恵	Emily BrontëとGeorge Eliotの異質性——CatherineとDorotheaを中心に: 実践英文学 29・30 ['86.12] p158~146
3801	荒田 静子	Emily Brontëの詩について——三期に分けての考察: 英文学論叢(日本大学英文学会) 33 ['85] p31~40
3802	大平 栄子	エミリ・ブロンテの自然にまつわる情念の行方: 信州豊南女子短期大学紀要 3 ['85] p31~50
3803	川股 陽太郎	エミリ・ブロンテ「他の枝々が茂るように」: 駒沢大学外国語部論集 28(追悼号) ['88.9] p95~110
3804	Suzuki, Mari(鈴木 万里)	An Essay on Emily Jane Brontë——Meditation on Death: 飯山論叢(東京工芸大女子短大部) 5(1) ['88.3] p49~87
3805	高橋 恭子	エドワード・ムンクとエミリ・ブロンテ——魂をみつめて: 国際短期大学紀要 1987年秋
〔書 誌〕		
3814	大島 朋子編	エミリ・ブロンテ書誌 1988年版 [大島朋子] '88.5 40枚
*Wuthering Heights (嵐ヶ丘)		
〔図 書〕		
3815	内田 能嗣	「嵐が丘」のエロス <愛と死——エロスのゆくえ 内多毅監修 創元社 '87.10 p147~160>
3816	川口 喬一	小説の解釈戦略—「嵐が丘」を読む 福武書店 '89.4 242p (Fukutake books 7)
3817	岸本 京子	相克と葛藤のはてに——エミリ・ブロンテ「嵐が丘」 <ヴィクトリア朝小説のヒロインたち 松村昌家編 創元社 '88.4 p123~154>
3818	滝 勝也	「嵐が丘」——「語り」と愛の底流 <イギリス文学評論II 杉本竜太郎, 内田能嗣編 創元社 '87.4 p161~174>
〔雑 誌〕		
3819	青山 誠子	「嵐が丘」研究の新動向: 英語青年 133(7) ['87.10] p322~324
3820	朝日 千尺	「嵐が丘」の舞台をめぐる: ブロンテ・スタディーズ(日本ブロンテ協会) 1(3) ['88.10] p63~72

図1 英米文学研究文献要覧

「最新海外作家事典」 1985年刊
903.5—N

世界各国で現在活躍中の作家を対象とし、かつ日本国内でその作品が邦訳、紹介されている作家を中心に約1,700名を収録しています。各項目の中は見出人名、略歴、最近の邦訳作品ガイドからなります。人名目次(50音順)、本文(50音順)、原綴索引(ABC順)に構成されています。

「英語年鑑」 830.59—G
各研究者本人の申告による文献が掲載されて

います。記載項目は英語学・英米文学各界の回顧と展望／英学日誌／個人研究業績一覧(執筆者の50音順)／英語学・英米文学関係人名録などです。回顧と展望は、イギリス詩の研究、アメリカ小説の研究など16項目からなります。個人研究業績は氏名の下は論文固有番号、論文名、掲載資料名、巻号、ページが記載されています。検索は巻末の「研究業績内容別分類項目索引」を見ます。1961年～1977年版(収録年月1960年4月～1976年3月)は累積になっていますが、以降は毎年刊行されています。

井田俊隆: 179 無能の商人 —評訳エミリ・ディキンソン (1) — (立命館大学国際言語文化研究所「言語文化研究」2巻3号)	伊藤 勲: 194 ベイター—人間性の根源の探求と永生(永田書房「詩と散文」48号)
市川紀男: 180 Joel Chandler Harris: His Mind and His Messages <英文> (岐阜大学教養部英語教室 Helicon, No. 2)	伊藤嘉一: 195 国際化時代の外国語教育(「東京学芸大学紀要」2部門42集)
	——: 196 カタカナ英語の活用法(東京学芸大学「英学論考」22号)

図2 英語年鑑

「MLA International bibliography of books and articles on the modern languages and literatures.」

803.1-M

現代文学、語学の研究文献（図書、雑誌記事）を国別・主題別に配列しています。1956年以降は年刊になっています。

「American literature, English literature, and world literature in English; An information guide series」 1974-1983年

930.131-A

中は項目別に bibliography/biography/works が記載されています。巻末の Author index, Title index から検索します。

《翻訳書》

「翻訳図書目録」 芸術・言語・文学篇

1945/1988 027.34-S

1945年～1988年までに国内で刊行された翻訳出版物ないし翻訳文献を含む刊行物を収録しています。原著者のABC順（同一著者の中は原書名のABC順）に配列されています。内容は、原著者の原綴り・カナ表記/原書名（訳書名）/著者・訳者/出版者からなります。検索は巻末の索引から探します。

「英米文学翻訳書目」 一各作家研究書附-

1990年刊 930.131-K

明治・大正～平成2年までの英米の主要作家の邦訳作品を収録しています。イギリスとアメリカの2部に分け、各々作家を50音順、単独の作品は邦語訳名の50音順に配列されています。研究書、また外国人による研究書でも、翻訳のあるものは記載されています。

ディキンソン Emily Dickinson (1830-86)	
ディキンソン詩集(抄) 安藤一郎 世界名詩集大成一	アメリカ 平凡社 一九五九 新倉俊一 世界詩人全集一二 新潮社 一九六九 世界文学全集四八
世界詩集 講談社 一九七二 エミリー・ディキンソン詩集 自然と愛と孤独と 中島完 国文社 一九六四、続自然と愛と孤独と 国文社 一九七三、続自然と愛と孤独と 国文社 一九八三、ディキンソン詩抄 加藤菊雄 白楊社 一九六六、完訳エミリー・ディキンソン詩集 研友社 一九七六、エミリー・ディキンソン詩集 もし愛がすぐそこにあるのなら 中島完 サンリオ 一九八三、エミリー・ディキンソン詩集 岡隆夫 桐原書店 一九七八、エミリー・ディキンソンの詩 佐藤健一 栗林書房 一九八〇、エミリー・ディキンソンの手紙 山川瑞明・武田雅子 弓書房 一九八四、エミリーの窓から 武田雅子(編訳) 峰書房 一九八八、海図なくとも 別離ほか 安藤一郎 世界詩人全集	

図3 英米文学翻訳書目

「明治・大正・昭和翻訳文学目録」

1959年刊 903.1-K

構成は、第Ⅰ部大正元年（1912）～昭和30（1955）と第Ⅱ部明治元年（1868）～明治45（1912）及び著者名索引からなります。内容は小説・戯曲・詩・評論・随筆・紀行・日記・書翰を含みます。配列は著者名のカナ表記順により、同一著者の中は、訳書名の50音順、同一訳書名の中は訳者の50音順、同一訳者の中は刊年順になっています。巻末に著者名索引（ABC順）があります。

「明治・大正・昭和邦訳アメリカ文学書目」

1968年刊 A930.131-M

アメリカ人の著者による小説・戯曲・詩・評論・紀行・日記その他の文学的作品で1868年～1967年の100年間に邦訳された出版物を収録しています。明治期出版の邦訳作品については、単行本に限らず、新聞・雑誌等に掲載されたものも含まれます。配列は、原著者のABC順、同一著者の中は原書名のABC順です。巻末の原書名索引（ABC順）、邦訳書名・訳者名索引からも検索できます。

「作品名から引ける世界文学 個人全集案内」

1992年刊 903.1-S

日本国内で昭和61年9月までに翻訳刊行された191名の個人全集394種、約2,800冊約49,000件の作品名を、訳者、出版者の異なるものも含めて収録しています。本篇と書簡篇に分かれ、各々50音順に配列、記載項目は作品名、作品原綴、訳者名、全集名、巻数、出版者、ページ等です。

《イギリス文学》

「日本における英国小説研究書誌」

930.631-N

単行書、学術雑誌、紀要に発表された文献を各年単位に収録しています。当館所蔵は1974年～1985年までです。構成は一般、18世紀およびそれ以前、19世紀、20世紀に分かれ、各々執筆者名・編著者名／書名・論文名／出版者／巻・号／頁が記載されています。検索は個別作家名（ABC順）、巻末の執筆者名索引（ABC順）を見ます。

「20世紀イギリス文学作家総覧」

1979-1984年刊 930.131-A

I 小説 II 劇 III 詩 IV-1 エッセイ・評論
IV-2 伝記・他の5冊で構成されています。収録年代は1976年～1982年です。作家は年代順に配列され、各作家の中は主な作品、伝記、書誌、研究書の順に記載し、研究書は洋書（翻訳を含む）・和書に分けそれぞれ発行年代順となっています。検索は各巻末のindex作家索引（原綴・ABC順）を見ます。

「British writers.」 8vols. 1979-1984

930.13-B

各冊が時代順に構成され作家の略伝と書誌が記載されています。

「A bibliography of modern British

novelists.」 2vols. 1978年刊 930.631-S

合計27名の作家のworks／個々の作品の研究／研究文献を収録しています。worksの中は作品の年代順、studyは執筆者のABC順に配列されています。

《アメリカ文学》

「アメリカ文学作家作品事典」

1991年刊 A930.13-R

収録対象は一部のマイナーな作家を除きほぼ完全に掲載しています。特色として学歴、兵役、職業、受賞歴なども記載されています。付録に「邦訳書目一覧」があります。配列は各作家のカタカナ表記の50音順、作家論の次に作品論を刊行年順に記載しています。検索は巻頭目次（各作家の50音順）を見ます。

「Modern American women writers.」

1991年刊 A930.135-M

41名の作家について研究、評伝の他 works/bibliography を記載しています。配列は作家のABC順、検索は事項、人名のindexを見ます（ABC順）。

「African American writers.」

1991年刊 A930.135-A

33名の作家について研究、評伝のほか works/bibliography を記載しています。配列は作家のABC順、検索は事項、人名のindexを見ます（ABC順）。

《雑誌論文を調べるために》

次に、雑誌や紀要に発表された論文や記事を探す方法を、代表的な資料をあげて説明します。

「雑誌記事索引」—人文・社会編— 累積索引版

国内発行の学術雑誌・大学紀要などに発表された研究論文を分野別に収録したものです。収録期間昭和23～59年までのものが累積版になっています。構成は欧米文学（ジャンル別項目）、英文学、米文学（作家・作品別項目）です。ただし1948～1974年は英米一括（同一項目は著者の50音順に配列）、1975～1984年は英・米は別々に（同一項目は論題名の50音順）に構成されています。検索は各々巻頭・巻末の主題索引、著者索引、及び別冊になっている総合索引／著者名索引／件名／事項／人名索引等から探します。

「雑誌記事索引」—人文・社会編—

1948年～1984年までは累積索引版ですが1985年以降の刊行頻度は季刊となります。当館所蔵は38巻1号～45巻2号（収録期間は1985年1月～1992年6月まで）です。構成と配列は1975年～1984年と同じです。検索は各号巻頭目次（分類順の項目名）、各号巻末の著者索引（50音順）、件名索引（50音順）から探します。

サリンジャー、J. D.

J. D. サリンジャー再考（多田 稔）：京都工芸繊維大学工芸学部研究報告 人文 32（'83）p45～61 [034811]

J. D. サリンジャーに見る愛と青春——「フラニーとゾーイ」の場合（清水 裕）：日本福祉大学研究紀要 54（'82.12）p234～213 [034812]

Phonyとphoebe——J. D. サリンジャーの文学について（内田 勉）：名古屋工業大学学报 33（'81）p25～31 [034813]

SALINGER' S PROBLEM OF THE RELEASE AND SALVATION OF THE MIND (Takao Tanaka)：四国女子大学紀要 3（2）（'84.3）p1～4 [034814]

サリンジャーの短篇小说にみる深層心理——精神分析的作家論（辻村 英夫）：秋田経済法科大学・秋田短期大学論叢 32（'83.9）p153～169 [034815]

シーモアの死の公案（佐野 実）：静岡大学教養部研究報告 第I部 16（2）（'80）p174～163 [034816]

●「ライ麦畑でつかまえて」The Catcher in the Rye

The Catcher in the Ryeの俗語と口語表現（黒岩 俊一）：日吉紀要（慶応義塾大学工学部）23（'81）p100～113 [034817]

図4 雑誌記事索引

文学部創設30周年記念展を開催して

閲覧係長 海 野 雅 央

文学部創設30周年を記念した行事の一環として図書館でも下記の内容で特別公開の展示を催したのでその顚末の一端を紹介してみたい。

① シェイクスピアの全集展

平成4年11月7日～19日

② 与謝野晶子と源氏物語展

平成4年11月24日～12月19日

今回のテーマは、学部学科の特徴やこれまで蒐集された資料を勘案して、準備段階から比較的すんなりと固まっていた。



まずシェイクスピアについては、テキストの本格的研究がはじまる18、19世紀の各編纂者による全集がほぼ揃っていることから「全集展」としてその変遷を紹介し、また一流の画家たちの各作品の名場面を収めた「ボルドール・シェイクスピア戯曲画集」の写真パネルによって、作

品の内容の一端にも触れられるようにした。

一方折りしも没後50年を迎え注目されている与謝野晶子を取り上げ、源氏物語の現代語訳に挑んだひとつの結晶である『梗概源氏物語』の自筆草稿を中心に紹介することにした。所蔵する晶子の原稿、書簡、色紙、短冊や著書などをならべると同時に『源氏五十四帖絵巻』の写真パネルや屏風などによって源氏物語との関連が自然と結びつくようにした。

尚、今回特に注意したのは、展示によって貴重な資料を傷めないように配慮したことである。このためには資料に対して適切な展示環境や物理的に不自然な姿勢がないよう心掛けることが必要である。そこで展示環境は、一応既存の施設でクリアされていると考え、展示方法についてある程度工夫をした。中性紙の厚紙で作った、本の開き具合に応じたV字型や三角型などの支え、透明のポリエチレンフィルムで作った、本が閉じないようにするための短冊型の抑え帯、写真パネルには材質的に問題のない中性紙の厚紙や両面テープなどなど。

最後になったが、今回の展示にあたって企画、図録作成、展示準備など多くの方々のご協力を仰いだ。深く感謝申し上げます。

鶴見大学文学部創設三十周年記念

〔番外編〕

学内学会・展示ポスター二人展

貞政少登 VS 飯島弥栄子

会 場
期 間
主 催

鶴見大学図書館エントランス・ホール
平成5年1月8日(金)～23日(土)
鶴見大学図書館・鶴見大学日本文学会

新刊あらかると

——情報科学・図書館学——

- チームの知的生産技術 グループウェア入門
溝口文雄他著 講談社 1992 (007.63-M)
狐の書評 狐著 本の雑誌社 1992 (019.1-K)
漱石を売る 出久根達郎著 文芸春秋 1992
(023.91-D)
ものの始まり50話 文明の源をさぐる
近藤二郎著 岩波書店 1992 (031.4-K)

——哲学・宗教——

- 占星術師たちのインド 暦と占いの文化
矢野道雄著 中公新書 1992 (148.8-Y)
ディオニュソス 大空の下を行く神
マルセル・ドゥティエンヌ著
法政大学出版局 1992 (162.31-D)
不老不死 仙人の誕生と神仙術 大形徹著
講談社現代新書 1992 (166-0)
日本往生術 死に方の精神誌 藤原成一著
法蔵館 1992 (180.4-F)
黙示録の秘密 ルドルフ・シュタイナー著
水声社 1991 (193.8-S)

——歴史・地理——

- さいころ 増川宏一著 法政大学出版局
1992 (210.108-M)
家主さんの大誤算 鈴木理生著 三省堂 1992
(213.6-S)
平安京 音の宇宙 中川真著 平凡社 1992
(216.2-N)
ローマは一日にして成らず ローマ人の物語 I
塩野七生著 新潮社 1992 (232-S)

最近整理された資料の一部を紹介します。
書名(叢書名)、著者名、出版社、出版年、
(請求記号)の順になっています。

- 国境をこえるドイツ 永井清彦著
講談社現代新書 1992 (234-N)
ピサ ルードルフ・ボルヒャルト著
みすず書房 1992 (237.04-B)
イメージの<楽園> 観光ハワイの文化史
山中速人著 筑摩書房 1992 (276-Y)
江戸奇人稀才事典 祖田浩一著 東京堂出版
1992 (281.04-S)
にっぽん地名紀行 本間信治著 新人物往来社
1992 (291.034-H)

——社会科学——

- やわらかなアラブ学 田中四郎著 新潮社
1992 (302.28-T)
ホワイトハウスとメディア 佐々木伸著
中公新書 1992 (317.953-S)
淑女が盗みにはしるとき エレイン・S・エイ
ベルソン著 国文社 1992 (326.36-A)
タバコの社会学 ドナルド・J・トロイヤー他
著 世界思想社 1992 (361.5-T)
「間」の日本文化 剣持武彦著 朝文社
1992 (361.6-K)
アメリカの大衆文化 清水知久著 明石書店
1992 (361.6-S)
家族と女性 峰岸純夫編 吉川弘文館
1992 (367.21-K)
変身する 仮面と異装の精神史 国立歴史民俗
・博物館編 平凡社 1992 (382.1-H)

——自然科学——

- 大江戸テクノロジー事情 石川英輔著 講談社
1992 (402.1-I)

0の不思議 誕生からコンピュータ処理まで
堀場芳数著 講談社 1992 (412-H)

地震考古学 遺跡が語る地震の歴史 寒川旭著
中公新書 1992 (453.21-S)

化石の博物誌 イヴェット・ゲラール＝ヴァリ
著 創元社 1992 (457-G)

花空庭園 荒俣宏著 平凡社 1992 (470.4-A)

資源植物学フィールドノート 小山鐵夫著
1992 (471.9-K)

キリン伝来考 ベルトルト・ラウファー著
博品社 1992 (489.87-L)

学問の生命 「医学とは何か」を問い続け行動
する 中川米造著 校成出版社 1991
(490.4-N)

分裂病の起源 I・I・ゴッテスマン著
日本評論社 1992 (493.76-G)

歯の神様 民俗への旅 神津文雄著 銀河書房
1991 (D02-K)

たまには歯みがき忘れても 中村輝夫著
農山漁村文化協会 1992 (D4-N)

——工学・産業——

ナショナル・トラスト 木原啓吉著 三省堂
1992 (519.8-K)

川を考える 野田智佑他著 岩波書店
1992 (519.81-N)

タイヤの科学 走りを支える技術の秘密
御堀直嗣著 講談社 1992 (537.45-M)

男の私小説風料理 西川治著
ソニー・マガジンズ 1991 (596-N)

成功する地場産業 天野昭著
日本放送出版協会 1992 (602.1-A)

木の実の文化誌 松山利夫他編 朝日新聞社
1992 (625-K)

——芸術・スポーツ——

風景画の病跡学 メリヨンとパリの銅版画
気谷誠著 平凡社 1992 (704-K)

色と空の日本美術 近世美術史異説
瀬木慎一著 里文出版 1992 (721.025-S)

和鏡の文化史 水鏡から魔鏡まで 青木豊著
刀水書房 1992 (756.5-A)

小劇場の風景 つか・野田・鴻上の劇世界
風間研著 中公新書 1992 (755.5-K)

シネマのある風景 山田稔著 みすず書房
1992 (778.04-Y)

ラグビーボールはなぜ楕円形なの？ 中村敏雄
編著 大修館書店 1992 (783.46-R)

——語学——

三十五のことばに関する七つの章 久保忠夫著
大修館書店 1992 (810.4-K)

やり直しの英語上達法 矢野安剛著
日本放送出版協会 1992 (830.7-Y)

意味について アルジルダス・ジュリアン・グ
レマス著 水声社 1992 (801.2-G)

——文学——

児童文学はどこまで闇を描けるか 村瀬学著
JICC出版局 1992 (909-M)

風景劇場 歴史小説のトポロジー 海野弘著
六興出版 1992 (910.26-U)

歴史としての文芸春秋 金子勝昭著
日本エディタースクール出版部 1991
(913.6-K-62-K)

孫悟空はサルかな？ 中野美代子著
・日本文芸社 1992 (923.5-N)

ドイツ暦物語 J・P・ヘーベル著 鳥影社
1992 (943-H)

そうはいつでも飛ぶのはやさしい イヴァン・
ヴィスコチル他著 国書刊行会
1992 (989.5-V)

図書館だより

◎開館日のお知らせ（1月～3月）

開館時間

平日 9:00～19:00（但し、水曜日は9:30開館）

土曜日 9:00～16:00

○＝閉館日

□＝開館時間短縮日 平日 9:00～16:30（但し、水曜日は9:30開館） 土曜日 9:00～12:30

1						
日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚

2						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗
㉘						

3						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗
㉘	㉙	㉚	㉛			

◎視聴覚サービスのお知らせ

◇映写会 1月11日(月) 12:40～14:33

シャレード (113分)

《主演》オードリー・ヘップバーン

*下記の期間、視聴覚室は閉室です。

1月16日(土)～3月31日(水)

Tsurumi Library Associationのご案内

Tsurumi Library Associationは、鶴見大学司書課程の卒業生を会員とし図書館の情報交換の場として、1992年3月に発足しました。当会の発足は、1990年2月に開催された、平成元年度卒業生による「図書館就職予定者の集い」において提案され、同年11月の「鶴見大学卒業生図書館関係就職者による懇談会」の席上で正式に決定されました。

現在、会員は80名で年1回の総会と年2回の研修会（学生の参加可能）を主な活動としています。

この3月に卒業予定で司書課程終了のみなさんのうち、当会に関心を持たれる方は、鶴見大学図書館内Tsurumi Library Association事務局（平柳・吉田）までご連絡ください。

アゴラ —— 鶴見大学図書館報 —— 第54号 1993年1月11日発行

編集・発行 鶴見大学図書館 丸山昭二郎

〒230 横浜市区鶴見区鶴見2-1-3 ☎ 045-581-1001 FAX 045-584-8197

印刷／朝日オフセット印刷㈱ (045)511-0141